

2008年8月11日

## 木質バイオマス発電事業<sup>1</sup>（株式会社吾妻バイオパワー）への参画について

東京ガス株式会社  
広 報 部

東京ガス株式会社（本社：東京都港区、社長：鳥原光憲、以下「東京ガス」）は、このたび、木質バイオマス発電事業を予定している株式会社吾妻バイオパワー（本社：群馬県前橋市、社長：木寺靖、以下「吾妻バイオパワー」）に出資し、本発電事業に参画します。

吾妻バイオパワーは、木屑チップ（剪定枝、廃材などを破碎しチップ化したもの）を燃料とした発電事業を行うために、13,600kW<sup>2</sup>の木質バイオマス発電所（群馬県吾妻郡）の建設を今月から開始しており、2010年度からの運転開始を目指しています。本発電所で発電した電力は、CO<sub>2</sub>を排出しない新エネルギー電力として認定されます。また、木質バイオマス発電は、再生可能エネルギーによる発電の中でも経済性に優れており、気象状況に左右されず計画に基づいた運転が可能です。東京ガスは、本発電所で発電された電力を全量購入し、特定規模電気事業者（PPS）である株式会社エネット（本社：東京都港区、社長：武井務）などに供給してまいります。

東京ガスの電力事業は、環境負荷が小さい天然ガスを利用した最新の火力発電所を建設し、順次運転開始しています。また、これに加え東京ガス袖ヶ浦工場（千葉県袖ヶ浦市）内においては、風力発電（1,990kW）も行っています。

東京ガスは、本発電事業への参画を通じて、長年にわたり、安定的な電源を確保すると共に、環境性が高く幅広い電源ポートフォリオを構築し、電力事業の事業価値を高めてまいります。また本発電事業で得られた技術・知見を活かし、再生可能エネルギーの積極的な利用を目指してまいります。

- 1：本発電事業は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（理事長：村田成二）から、「新エネルギー等事業者支援対策事業」に採択されています。
- 2：発電端出力。年間送電量は約23,000世帯分の年間電力使用量に相当する規模です。

### 会社概要

会 社 名 : 株式会社吾妻バイオパワー  
所 在 地 : 群馬県前橋市南町三丁目38-1  
代 表 者 : 木 寺 靖  
設 立 年 月 日 : 2006年1月10日  
主 な 事 業 内 容 : 発電、電気および蒸気の供給に関する事業  
資 本 金 : 750百万円（出資比率 オリックス95.56%、東京ガス4.44%）

### 木質バイオマス発電事業の概要

- 所在地 : 群馬県吾妻郡東吾妻町大字岡崎字金子 460-1 他
- 概要 : 循環流動層ボイラーを利用したバイオマス燃料(木屑チップ)専焼発電設備を建設し、年間約 13 万 t の木屑チップ燃料を燃焼させて発電を行います。
- 発電規模 : 13,600kW (発電端出力)
- 発電方式 : 蒸気タービンによる汽力発電方式
- 投入燃料 : 木屑チップ 100% (剪定枝などの生木 50%、建築廃材 50%)
- 事業期間 : 2010 年~2025 年 (15 年間操業)
- 燃料供給業者 : 群馬県内および近県の木材チップ業者約 20 社
- 敷地面積 : 約 29,000 m<sup>2</sup>

以上